



いづみしきぶのはか
⑥和泉式部墓
 宝篋印塔。南北朝末期の建立とされます。平安時代に活躍した女流歌人と泉式部の墓と伝えられていますが、建立の年代とは300年以上の差があります。



この
⑦小野の二軒屋跡
 1999～2000年頃まで2軒の住居がありましたが、その後空き家となりました。あいな里山公園整備に際し、鶴越道を挟んだすぐ南側の公園敷地内に解体移築され、2010年3月復元されました。元の場所には蔵だけが現存しています。



そうだがつじ
⑧相談ヶ辻
 一の谷の合戦の前日、三草山から藍那まで進んできた義経が、直進して鶴越に出るべきか、右折して白川に出、一の谷へ軍を進めるべきか迷って作戦会議を開いたという場所です。



しいのぎづか
⑨椎木塚跡
 源義経が一ノ谷を攻めるため、三草山より相談ヶ辻に至った時、この付近にあった椎の木の木陰で軍議を開いたといわれています。



むらさきしきぶのはか
⑩紫式部墓
 宝篋印塔。北側正面に「永和二年七十四」（1376年7月14日）の銘がある。紫式部の生没年は不詳であるが、10世紀末から11世紀初めの平安時代中期の女性で「源氏物語」の作者とされています。塔の銘とは300年以上の開きがあります。



しちほんそとば
⑪七本卒塔婆
 誰が何のために建立したのか謎です。14世紀末（南北朝後期）の建立と推定されています。並んで建てられている宝塔もほぼ同時期のものです。

歴史古道

藍那道
 三草山の合戦に勝利した源義経一行が、鷲尾三郎の案内で鶴越の坂落しに向かった道を「義経道」と呼んでいます。一行は播磨の国・三木方面から山田を経て藍那に通じる藍那道（＝鶴越道）を、あるいは播磨の国・押部谷、木津方面から藍那に至る鶴越道を通ったという伝承があり、それぞれが義経道と呼ばれています。

ひよどりごえみち
鶴越道
 鶴越道とは、摂津の国・兵庫から、鶴越（鶴越墓園内の高尾山付近）、藍那の辻を経て、播磨の国・三木、押部谷方面に通じる古道をいいます。有馬街道が整備されるまでは藍那～兵庫間を結ぶほぼ唯一の道でした。これらの道には、義経が坂落しに向かったという伝承があり、義経道とも呼ばれています。

徳川道
 幕末期、開港した神戸で外国人と大名のトラブルを避けるため、石屋川から藍那・白川を経て明石の西を結ぶ西国街道の迂回ルートとして、突貫工事で行われました。

あいな里山公園とは…

誰もが気軽に里山を体験できる「里地里山文化公園」
 国営明石海峡公園は明石海峡大橋を中心として、「淡路地区（淡路島 国営明石海峡公園）」と「神戸地区（あいな里山公園）」の2地区からなる国営公園です。四季折々の里山の自然や暮らし、文化をお楽しみいただけるよう、毎日行っている「体験メニュー」、週末に行っている「体験プログラム」、季節ごとに行う「4大まつり」など、様々な里山体験を用意しています。

4大まつり



5月下旬
田植えまつり

昔ながらの田植えを体験していただけます。



7月下旬
やまものまつり

やまもの収穫をお楽しみいただけます。



10月下旬
里山まつり

稲刈りや芋掘りを中心に様々な体験をお楽しみいただけます。



1月下旬
初まつり

1年の無病息災と五穀豊穡を祈願するとんど焼きを行います。

里山体験プログラム 土日祝を中心に行っている四季折々の里山を楽しむプログラムです

自然 食 暮らし 手入れ

水辺の生きもの観察 山菜の天ぷら しめ縄づくり 炭焼き

入園料	大人450円/65歳以上210円/中学生以下 無料 (団体割引、年間パスポートあり)
開園時間	4～6, 9, 10月 9:30～17:00
	7, 8月 9:30～18:00
	11～3月 9:30～16:00
	※入園できるのは、閉園の1時間前までとなります。 ※12/31、1/1、2月の平日5日間は休園日
アクセス	神戸電鉄藍那駅から徒歩約20分 (しあわせの村から無料送迎バスあり) 駐車場あり(普通車1日500円/大型車1日1,600円/自動二輪・原付1日100円)
問合せ先	あいな里山公園管理センター tel.078-591-8000 (9:00～17:00)



監修/野村貴郎(武庫川女子大学名誉教授)
 協力/山田民俗文化保存会 天野雅夫(あいな里山ビオパーク)
 発行/あいな里山公園



あいな
 歴史散策

国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

あいな
 歴史散策



だいちゅうじ
①大中寺
 室町中期に悟溪和尚(1500年没)が創立しました。当初は、真言宗でしたが、元禄時代(1688～1704)に村を挙げて臨済宗に改宗したようです。現在の建物は2年間の工事を経て2001年春に完成を祝い法要をしたものです。



びしゃもんどう
②昆沙門堂
 旧堂は茅葺の宝形造りで姿も美しく、珍しい建築様式を示していましたが、1965年に台風で倒壊しました。本尊は無事でしたので、新堂を建てて安置しています。ここでは、地域の安全を願って年に5回数珠繰りが行われています。



あまつひこねじんじや
③天津彦根神社
 建築年代は拝殿入り口に掲げられた額裏の銘から享和年間(1801～04)と思われる。境内には農村舞台があり、当時は地芝居が盛んだったようです。



しゃかどう
④釈迦堂
 もと釈迦如来を本尊とする寺でしたが、1893年にその本尊を大中寺に預けて農村舞台に改造しました。兵庫県でも他に例を見ない大舞台でしたが、台風で屋根が飛ばされ、それ以来農業用倉庫となっています。

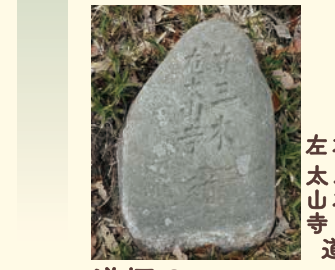


⑤藍那の辻
 鶴越道が藍那・山田方面と木津・三木方面に分岐する辻。道標があり、頂部三角形の上部をくぼめて仏像を彫り、その下に左右方向を示す指型、さらにその下に右「あいな」左「みき」と刻まれています。



道標①

道標②



道標③

道標④

あいな 歴史散策

歴史と自然とともに

あいな里山には古い歴史が残っています。一の谷の合戦へと向かう源義経の一軍が藍那の古道を通過して進軍し、相談ヶ辻で軍議を開いたという話は有名です。この冊子を参考に、あいな里山公園とその周辺の史跡や景観を楽しみながら散策してみましょう。

おすすめコース

スタート 藍那駅

徒歩7分/約400m

① 大中寺

徒歩7分/約400m

② 毘沙門堂

徒歩1分/約90m

③ 天津彦根神社

徒歩15分/約970m

④ 釈迦堂

徒歩7分/約410m

⑤ 藍那の辻

⑥ 和泉式部墓

徒歩4分/約350m

伝庫の家

農村舞台

白拍子の家

盆処の丘

相談ヶ辻の家

⑦ 小野の二軒屋跡

⑧ 相談ヶ辻

徒歩2分/約125m

⑨ 椎木塚跡

徒歩20分/約1200m

⑩ 紫式部墓

⑪ 七本卒塔婆

徒歩1分/約50m

ゴール 藍那駅



農村舞台

藍那にあった釈迦堂の農村舞台を模して茅葺で新築したものです。間口13.4m、奥行き9.6m、回り舞台の直径8mの大舞台で、床下に人がもぐって舞台を回せる構造となっています。2010年3月に竣工しました。



伝庫の家

神戸市北区山田町原野の旧前中邸の古民家で17世紀中期(江戸時代初期)の建築です。山田地域の典型的な農家の作りで、1995年神戸市により解体保存されていたものを、現在の建築基準に照らし2007年に組み直し復元したものです。当地の地名をとって「伝庫の家」と名付けました。



白拍子の家

山田町坂本の田中家の古民家で、1996年、神戸市により解体保存されていたものを、現在の建築基準に照らし2008年に組み直し復元したものです。茅葺の主屋は(18.1m×10.9m)と大きな規模であり、庄屋の家であったと伝えられています。この付近に「白拍子」という風流な呼び名をもつ所があったという言い伝えから「白拍子」と名づけました。



相談ヶ辻の家

鶴越と白川道の分岐点である辻を相談ヶ辻といいます。この家は、相談ヶ辻の北にあった小野の二軒屋を2009年度に解体移築したものです。

